
04:04:38 -TOKYO-

blazeblue

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

04:04:38 - TOKYO -

【Nコード】

N9362R

【作者名】

blazeblue

【あらすじ】

終わるはずがなかった恋と、終わりを迎えた彼女の独白。

ねえ。

私といった時間、後悔してる？

喉を押し上げた言葉は最後まで唇を割らず、押し殺した想いは心に沈んでいく。

絡みついた想いの残滓はそれだけで喉を締め、言葉は出口を失った。

答えは曖昧な笑顔で躲されるかしら。

それとも気まぐれで答えをくれるのかしら。

とは言え答えをもらえたところで、今となっては取り返せない時間への繰り返し言にしかないのだけれど。

そう、もう取り返せないならば、誰も触れられないほどの深さに沈めるしかできない。

明らかな逃げだと分かっている、それ以外の選択など私にはできないのだから。

沈めても沈めてもなお浮かび上がるキモチは大きすぎて、そろそろ私自身の手ですら余りそうだ。

それが足掻いて決定的に浮かび上がる前に、最後の言葉も言わず私は背を向けた。

無言で帰るなんていつもの私にはできない。
でも、仕方ないじゃない。

こんな最後になった今でも、あなたから”別れの言葉”を聞きたくなかったのよ。
未練らしいことをいう前に、カッコいい私のままで。私は何も言わず、そして何も聞かずに背を向けた。

ワガママね。

わかってるわ。

でも、いいじゃない。

あなたの記憶に残る最後が、泣き崩れて化粧がグチャグチャの顔なんて。女としてのプライドが許せないの。

こんなの傷のうちに入らないんだから。またすぐに他のオトコを見つけてるわ。

そう笑って、背を伸ばして帰るの。
それくらい見栄を張らせてよ。

縋り付いて引き止めるなんてしない。それができるならとうの昔にやってるわ。できたかもしれないタイミングは、今じゃないの。
もう、遅いのよ。

それに知ってるでしょう？

私、面倒臭いほどにプライド高いのよ。

せいぜい、あなたの褒めてくれた「カッコいいオンナ」を装うわ。
あなたの逃した私をあなたの目に焼き付けてやる。

それくらい許してよね。

私ばかり想ってたなんてズルいじゃない。

だからあと五分だけ。

あなたの前から姿を消す間だけ。

泣き崩れるのは後回しに決めた。

いいだけ泣いてから、温かな布団の中で。

メールを消す。

送受信の履歴を消す。

着信履歴を消す。
発信履歴を消す。

それから、アドレス帳にある彼のページを呼び出して。

少しだけためらって、彼のデータを全て消した。

たくさん泣いたのに、おかしいな。
また涙が出てきた。

いいや、泣いちゃえ。
思いっきり私を甘やかしたら、もう一度探しに行くことにしよう。

カッコ良くない私も受け入れてくれる人がいたら、嬉しいな????

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9362r/>

04:04:38 -TOKYO-

2011年10月7日05時25分発行